

政府の経済的役割に関する 異なる見解

Different views of the economic role of the state

7月31日(水) 明治大学駿河台キャンパス
リバティタワー16階 1163教室にて
15:20-17:00

・使用言語:英語

講師: クラウディオ・サルドーニ教授
(ローマ・ラ・サピエンツァ大学・名誉教授)

Prof. Claudio Sardoni

(Honorary Professor of Economics, Sapienza University of Rome)



○講師プロフィール

ローマ・ラ・サピエンツァ大学名誉教授。

アデレード大学 (Ph.D)。

マクロ経済理論、金融理論と金融政策、政府と経済成長などの研究で多数の論文を発表している。Review of Social EconomyやReview of Political Economyなどの国際ジャーナルの編集委員等を務める。

講義内容: 政府の経済的役割に関しては、市場に重きをおく見方と政府の役割を重視するケインジアン的な見方など、様々な見解が存在する。

本講義は、国家の経済的役割について、特に政府支出と経済成長に焦点を当てて、ドマー、ハーシュマン、ブキャナンらの見解を取り上げて、この重要な問題について考える機会とする。

学内・学外を問わず参加可能です【事前予約必須】

参加をご希望の方はQRコードからご予約ください

【事前予約期限: 2024年7月29日(月) まで】

URL: <https://forms.office.com/r/UeTSjCB892>

【お問い合わせ先】明治大学大学院事務局

☎: 03-3296-4150 (政治経済学研究科担当)

✉: seikeiken@mics.meiji.ac.jp

